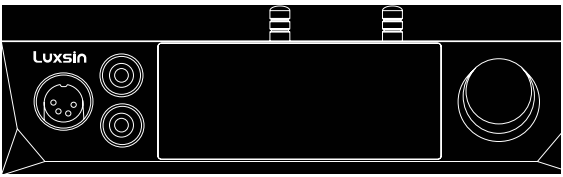
LUXSIN

# Luxsin X8

## 取扱説明書

Luxsin X8 DAC & ヘッドホンアンプ



# 目次

**製品紹介** 4
FCC声明 5
**主な仕様** 6
**ハードウェア概要** 9
背面パネル 9
端子の説明 9
前面パネル 10
端子の説明 10
リモコンの機能（オプション） 11
**基本操作** 13
メイン画面の概要 13
音質効果の設定 15
エフェクト（Effects） 15
HP-EQの詳細（HP-EQ Detail） 16
入力ソース（Input Sources） 17
出力先（Output Sources） 19
**オーディオ設定（Audio Settings）** 20
ヘッドホンゲイン（Headphone Gain） 20
自動インピーダンス検出（Auto Impedance Detection） 20
フィルター特性設定（Filter Characteristics Settings） 22
プリアンプ出力レベル（Pre-output level） 23
ダイナミックレンジ拡張（Dynamic Range Enhancement） 23
プリアンプ出力のボリュームスルー（Pre-out Volume passthrough） 24
XLRポートの極性（XLR Port Polarity） 24
ボリュームステップ（Volume step） 25
起動時の音量（Boot volume） 25

# 目次


左右バランス（Left-right balance） 26
VUメーター感度（VU meter sensitivity） 26
IIS設定（IIS Setting） 27

**Wi-Fi 30**

**一般設定（General Settings） 31**

**本機について（About） 33**

マイデバイス（My Device） 33
スマホ操作（Mobile Control） 33
ブラウザ操作（Web Control） 34
アプリ操作（Mobile App Control） 36
システム更新（System Update） 38
オンラインアップデート（Online Update） 38
ローカルアップデート（Local Upgrade） 38

**出力信号の接続と設定 39**

ヘッドホン出力の接続 39
XLR/RCA出力の接続 40
IIS出力の接続（IIS対応機器との接続用） 41

**入力信号の接続と設定 42**

USB Type-B/C入力の接続 42
光/同軸入力の接続 43
Bluetooth音声入力の接続 43

**注意事項 45**

資料とダウンロード 45
特記事項: 45
安全に関するご注意: 45

# 製品紹介

このたびは、Luxsin X8 据え置き型DAC/ヘッドホンアンプ/パワーアンプ一体型をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

Luxsin X8は、高性能な据え置き型DAC/ヘッドホンアンプ/パワーアンプです。CS43198デコードチップを8基搭載し、2,500機種を超えるヘッドホンに標準対応します。中核には新世代の高性能DSPモジュールを採用し、HiFi-5 DSP + ARM STARによるデュアルコア構成に、大容量SRAMを備えています。DSPは500MHzを超える動作周波数で稼働し、ハードウェアレベルのHP-EQとクロスフィードを搭載。ヘッドホンの周波数特性を自動補正し、精密かつ安定したオーディオ処理を実現します。ヘッドホンアンプ部はフルバランス設計を採用し、出力はL+R ≥ 4800mV + 4800mVを実現します。ヘッドホンのインピーダンスを自動認識し、多様な機種に対して安定した駆動性能を発揮します。さらに複数の入力インターフェースに対応し、Wi-Fiリモートコントロールと、OTAによるファームウェアのオンラインアップデート機能を備えています。

X8のデコード方式はCS43198 DACチップを8基使用し、高スペックなパラレルデコードシステムを構成しています。各チャンネルには4基のCS43198チップを並列動作させ、真のデュアルモノ・パラレルDAC構成を実現しています。左右チャンネルは電源、回路レイアウト、信号経路のすべてにおいて完全に独立しており、物理的に分離することでクロストークと相互干渉を最小限に抑えています。X8には、8基すべてのCS43198チップに専用の独立したシールドカバーを装備しています。このシールド構造により、デジタル回路と周辺の高周波干渉を効果的に遮断すると同時に、放熱を促進して熱分布を均一化し、全体的な動作安定性を大幅に高めています。

X8のHP-EQシステムは、ヘッドホンの周波数特性を完全自動で補正します。アプリで該当するヘッドホンの機種を選ぶだけでEQパラメーターが自動的に読み込まれ、複雑なパラメトリックEQの手動調整が不要な、完全自動のチューニングを実現します。AIによるチューニング支援機能も備え、音声コマンドで全体の音質や特定の要素をインテリジェントに最適化できます。これにより、チューニングがより直感的かつ効率的になり、ユーザーの技術的なハードルを下げています。インターネットに接続すればヘッドホンの機種データベースは継続的に更新され、ユーザー同士でカスタムEQカーブを共有することもできます。

Luxsin X8はUSB-B、USB-C、同軸、光、Bluetooth、IISなど幅広いデジタル入力に対応し、オーディオファイルの多様な機器構成のニーズに応えます。卓越したプリアンプ性能と優れた音質により、X8は比類のない本格的なハイフィデリティ

の音楽体験と喜びをお届けします。

本機をご使用になる前に、本取扱説明書をよくお読みいただき、すべての機能を正しくご活用ください。

## FCC声明

適合について責任を負う当事者が明示的に承認していない変更または改造を行った場合、本機を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。本機はテストの結果、FCC規則Part 15に定めるClass Bデジタル機器の制限に適合していることが確認されています。これらの制限は、住宅地域における有害な混信に対して妥当な保護を提供することを目的としています。本機は高周波エネルギーを発生・使用し、放射する場合がありますが、取扱説明書の指示に従って設置・使用しない場合、無線通信に有害な混信を及ぼすことがあります。ただし、特定の設置環境において混信が発生しないことを保証するものではありません。本機の電源のオン・オフによって判断できる、ラジオまたはテレビの受信に対する有害な混信が生じた場合、ユーザーは次のいずれか、または複数の対策を試みることをお勧めします。

-- 受信アンテナの向きを変える、または設置場所を変更する。
-- 本機と受信機との距離を離す。
-- 本機を受信機とは別の回路のコンセントに接続する。
-- 販売店、または無線／テレビに詳しい技術者に相談する。

本機はFCC規則Part 15に適合しています。本機の使用にあたっては、次の2つの条件が適用されます。(1) 本機は有害な混信を発生させないこと、(2) 本機は、誤動作を引き起こす可能性のある混信を含め、受信したいかなる混信も許容しなければならないこと。

# 主な仕様

| 基本仕様 | |
|---|---|
| 型番 | Luxsin X8 |
| カラー | ブラック |
| 外形寸法 | 236mm（幅）× 236.8mm（奥行）× 64mm（高さ） |
| 質量 | 2750g |
| ディスプレイ | 4型LCD（480×960）タッチスクリーン |
| 入力電源 | AC100～240V 50/60Hz |
| DAC | Cirrus Logic CS43198 × 8 |
| 電源 | 超低ノイズ・電圧可変リニア電源 |
| Wi-Fi | Wi-Fi 2.4GHz / 5GHz |
| Bluetooth | Qualcomm QCC5125（BT5.1） |
| ファームウェア | OTAオンラインアップデート／ローカルアップデートに対応 |
| 操作方法 | タッチスクリーン、モバイルアプリ（Android/iOS）、Webブラウザ、赤外線リモコン（オプション） |
| 定格消費電力 | 25W |
| 同梱物 | 電源ケーブル×1、USB-Bケーブル×1、3.5mm-6.35mm変換アダプター×1 |

| 入出力 | |
|---|---|
| USB-A入力 | ローカルアップデート用 |
| USB-B入力 | PCM 768kHz/32bit、DSD512（ネイティブ）に対応 |
| USB-C入力 | PCM 768kHz/32bit、DSD512（ネイティブ）に対応 |
| IIS入力 | PCM 768kHz/32bit、DSD512（ネイティブ）に対応 |
| 同軸入力 | PCM 192kHz/24bitに対応 |
| 光入力 | PCM 192kHz/24bitに対応 |
| トリガー入力 | 標準3.5mm端子 |
| トリガー出力 | 標準3.5mm端子 |
| アナログライン出力 | XLR（バランス）、RCA（アンバランス） |

| | |
|---|---|
| ヘッドホン出力 | 6.35mm（アンバランス）、4.4mm（バランス）、4ピンXLR（バランス） |

| XLR出力オーディオ特性 | |
|---|---|
| S/N比 | ≥129.5dB |
| THD+N | ＜-121.8dB@unweighted |
| クロストーク | ≥133dB（1kHz@200kΩ） |
| ノイズフロア | ＜1.1μVrms |
| 出力レベル | 4.2Vrms（1kHz@200kΩ） |

| RCA出力オーディオ特性 | |
|---|---|
| S/N比 | ≥124.5dB |
| THD+N | ＜-120dB@unweighted |
| クロストーク | ≥125dB（1kHz@100kΩ） |
| ノイズフロア | ＜1.3μVrms |
| 出力レベル | 2.1Vrms（1kHz@100kΩ） |

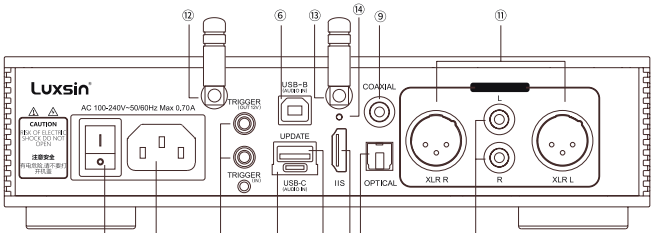
| バランスヘッドホン出力（4.4mm/XLR4）の性能・仕様 | |
|---|---|
| ローゲイン | L+R≥4840mW+4840mW（16Ω、THD+N＜1%）/ 8.8Vrms |
| | L+R≥2500mW+2500mW（32Ω、THD+N＜1%）/ 8.9Vrms |
| | L+R≥270mW+270mW（300Ω、THD+N＜1%）/ 9Vrms |
| ミドルゲイン | L+R≥4840mW+4840mW（16Ω、THD+N＜1%）/ 8.8Vrms |
| | L+R≥3900mW+3900mW（32Ω、THD+N＜1%）/ 11.2Vrms |
| | L+R≥430mW+430mW（300Ω、THD+N＜1%）/ 11.4Vrms |
| ハイゲイン | L+R≥4840mW+4840mW（16Ω、THD+N＜1%）/ 8.8Vrms |
| | L+R≥4300mW+4300mW（32Ω、THD+N＜1%）/ 11.8Vrms |
| | L+R≥950mW+950mW（300Ω、THD+N＜1%）/ 16.9Vrms |
| 出力インピーダンス | ＜1Ω |

| | |
|---|---|
| **THD+N** | ＜-117dB（1kHz/0dB@32Ω） |
| **S/N比** | ≥123dB |
| **クロストーク** | ≥119dB（1kHz@32Ω） |

| **アンバランスヘッドホン出力（6.35mm）の性能・仕様** | |
|---|---|
| **ローゲイン** | L+R≥1300mW+1300mW（16Ω、THD+N＜1%）/ 4.5Vrms |
| | L+R≥630mW+630mW（32Ω、THD+N＜1%）/ 4.5Vrms |
| | L+R≥70mW+70mW（300Ω、THD+N＜1%）/ 4.5Vrms |
| **ミドルゲイン** | L+R≥2000mW+2000mW（16Ω、THD+N＜1%）/ 5.6Vrms |
| | L+R≥1000mW+1000mW（32Ω、THD+N＜1%）/ 5.6Vrms |
| | L+R≥100mW+100mW（300Ω、THD+N＜1%）/ 5.6Vrms |
| **ハイゲイン** | L+R≥2900mW+2900mW（16Ω、THD+N＜1%）/ 6.8Vrms |
| | L+R≥1750mW+1750mW（32Ω、THD+N＜1%）/ 7.5Vrms |
| | L+R≥230mW+230mW（300Ω、THD+N＜1%）/ 8.4Vrms |
| **出力インピーダンス** | ＜1Ω |
| **THD+N** | ＜-115dB（1kHz/0dB@32Ω） |
| **S/N比** | ≥121dB |

# ハードウェア概要

## 背面パネル




## 端子の説明

- 電源スイッチ
- 電源入力 100～240V～ 50/60Hz、最大 0.35A
- TRIGGER IN：外部のフロントエンド機器（デジタルストリーマーのホスト機器等）から12Vトリガー信号を受信し、本機（X8）の電源オン/オフを連動制御します。
- TRIGGER OUT：本機（X8）から12Vトリガー信号を出力し、パワーアンプやアクティブスピーカーをトリガーして起動させます。
- USB-C OTG　スマートフォンとの接続に使用します（OTGケーブルが必要です）。
- USB-Aポート　ファームウェアアップデートおよびローカル再生に使用します。
- USB-B音声入力　USB音声出力を備えたコンピューターやデジタルストリーマーと接続します。
- IISポート　IIS対応機器の接続に使用します。
- 光入力　CDプレーヤーやセットトップボックス、ターンテーブル等との接続に使用します。
- 同軸入力　CDトランスポートやストリーマートランスポートなど、デジタル音声のソース機器との接続に使用します。
- シングルエンドRCA出力
- XLRバランス出力
- Bluetoothアンテナ　Bluetooth接続に使用します。
- Wi-Fiアンテナ　無線ネットワーク接続に使用します。

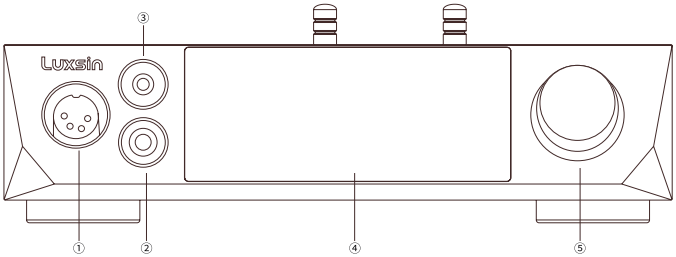
- Reset　USBドライブを挿入した状態で電源を入れながらリセットボタンを押します。Luxsinのロゴが2秒間表示されたらボタンを離すと、アップグレードが開始されます。

> 注意事項

> *ご使用前に、良好な受信感度を得るためすべてのアンテナを上向きに回転させてください。




## 前面パネル



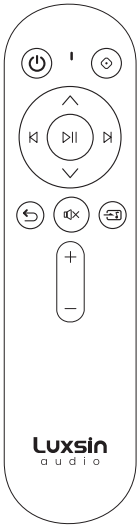

## 端子の説明

① XLR4バランスヘッドホン出力

② 6.35mmヘッドホン出力

③ 4.4mmバランスヘッドホン出力

④ LEDディスプレイ（画面上のタッチ式ボタン）




⑤ ロータリーノブー音量を調整します。

## リモコンの機能（オプション）

- 電源オン/オフ
- 画面オフ
- 前の曲
- 一時停止
- 次の曲
- 上
- 下
- 戻る
- ミュート
- 入力切替

> *本リモコンはLuxsinシリーズ製品専用です。

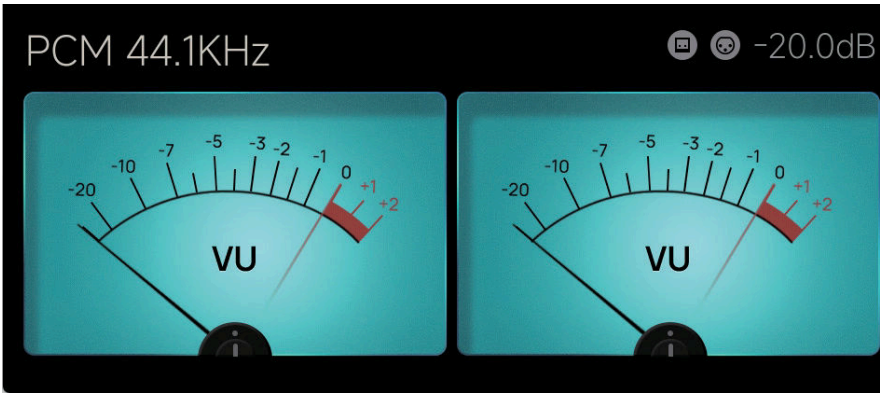
- 音量+

- 音量−

> *電源キーはIR（赤外線）による電源制御のみに対応しています。

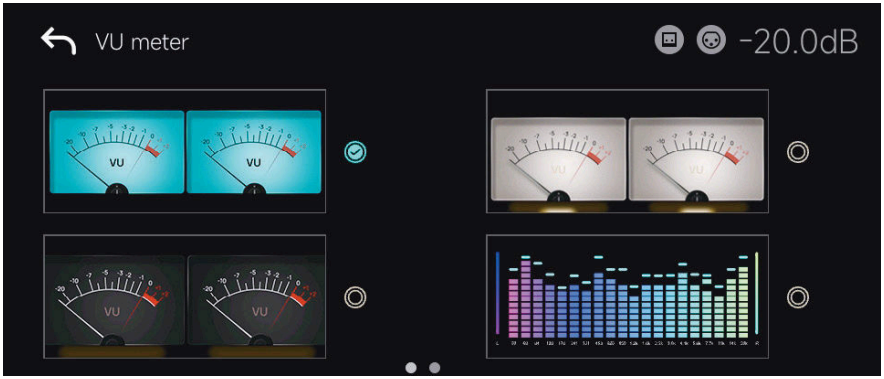
# 基本操作

## メイン画面の概要

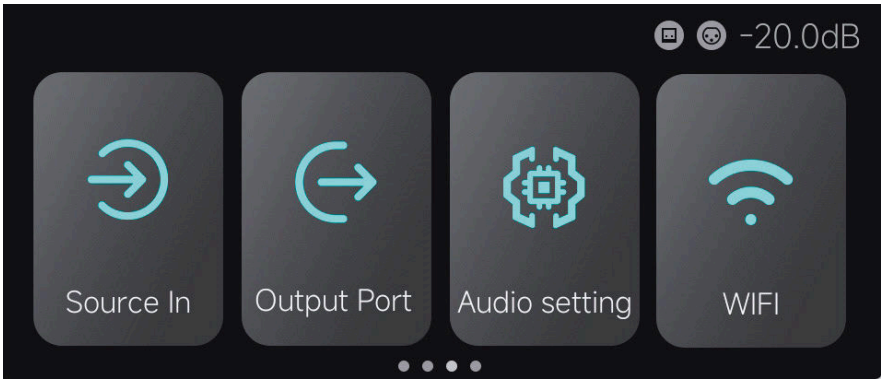


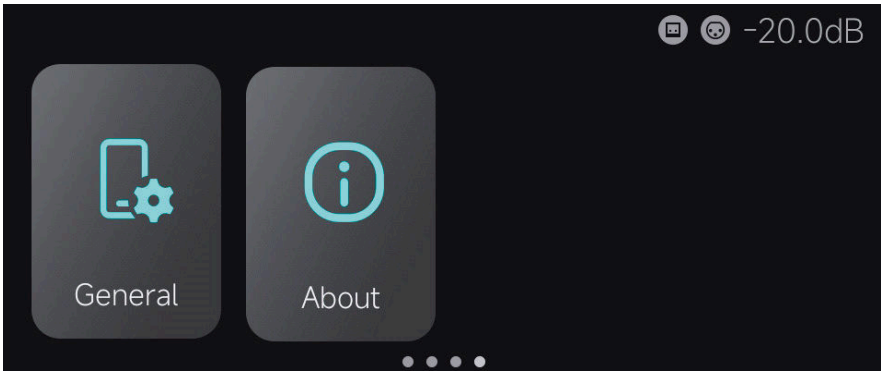

画面右上のステータスバー：入出力の接続状況、使用中のデバイス、現在の音量レベルを表示します。画面左上のステータスバー：現在再生中のオーディオフォーマット（PCMなど）を表示します。上下スワイプ：画面を縦方向にスワイプすると、VUメーターの表示を切り替えられます。左右スワイプ：画面を横方向にスワイプすると、ほかの機能表示エリアに移動できます。長押し（2秒）：画面上の任意の位置を2秒間長押しすると、ほかのVUメータースタイルを表示し、好みのメイン画面表示を選択できます。（下の画像を参照）



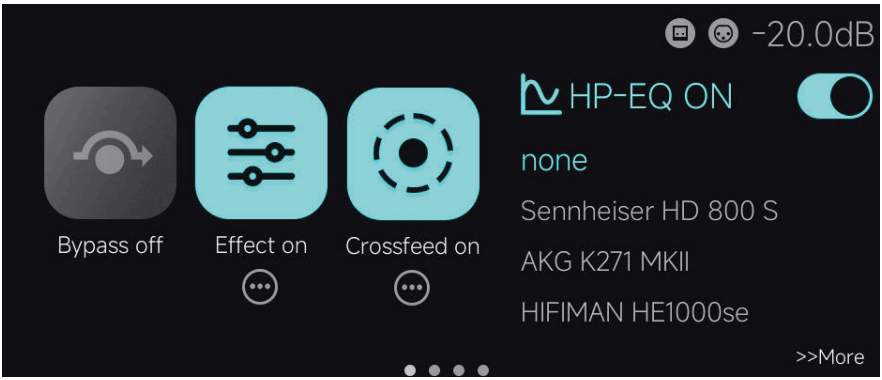



メイン機能エリア：入力ソース（Input Source）、出力ポート（Output Port）、オーディオ設定（Audio Settings）、Wi-Fi、一般設定（General Settings）、本機について（About）（左右のスワイプで切り替え）



## 音質効果の設定




本機はDSPを搭載しており、好みに合わせて音を細かく調整できます。パラメトリックEQ、音質効果（ステレオ幅、各種ミュージックスタイル、サブウーファーなど）、クロスフィードを調整できます。入出力の接続状況、ネットワークの状態、音量レベルも表示されます。HP-EQの一覧から、お使いのヘッドホンの機種を直接選択できます。バイパスのオン/オフ（Bypass On/Off）：すべての音質効果を有効または無効にするマスタースイッチです。エフェクト（Effects）：タップして有効/無効を切り替えます。「…」をタップすると、ステレオ幅、ミュージックスタイル、サブウーファーの詳細設定に入ります。クロスフィード（Crossfeed）：タップして有効/無効を切り替えます。「…」をタップすると、クロスフィードの詳細設定に入ります。HP-EQのオン/オフ（HP-EQ On/Off）：ヘッドホン専用EQのオン/オフを切り替えます。タップすると「More」（詳細設定）でヘッドホンの機種や設定を選択できます。

## エフェクト（Effects）

- ステレオ幅（Soundstage Width）

音楽再生時に感じられる空間的な広がりを調整します。数値（0〜100）が大きいほど、より没入感のある音場になります。




- スタイルプリセット（Style Presets）

音楽のジャンルや雰囲気に合わせた、さまざまなEQプリセットから選択できます：クラシック（Classical）、ダンス（Dance）、ポップ（Pop）、レゲエ（Reggae）、ライブ（Live）、ロック（Rock）、ソフト（Soft）、エレクトロニック（Electronic）、クラブ（Club）、オールベース（All Bass）、オールトレブル（All Treble）、ヘッドホン（Headphone）、ホール（Hall）、パーティ（Party）、スカ（Ska）、チル（Chill）

- トーン（Tone）

好みに合わせて低音、中音、高音を調整できます。

- ラウドネス（Loudness）

音量を下げた際に聞き取りにくくなる高音域・低音域の情報を自動で補正します。しきい値、低音、高音を調整できます。

### HP-EQの詳細（HP-EQ Detail）

> 注：HP-EQ機能は、サンプリング周波数192kHz以下のPCM信号にのみ有効です。192kHzを超えるPCM信号、またはネイティブDSD信号が入力された場合、オーディオデータはDSPモジュールを経由せず、ソースダイレクトのバイパスモードでそのままDACに送られてデコードされます。

HP-EQの詳細な設定については、下記のQRコードから「HP-EQガイド（HP-EQ Guide）」をご参照ください。

HP-EQ

## 入力ソース（Input Sources）






Luxsin X8は、以下を含むさまざまな入力に対応しています：

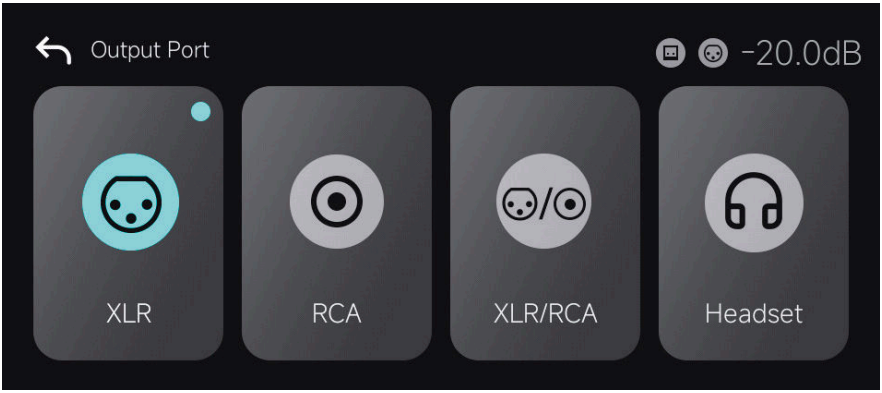
- USB-B
- USB-C
- 同軸（Coaxial）
- 光（Optical）
- Bluetooth
- IIS

実際の接続に応じて、対応する入力ソースを選択してください。

> 注：

- すべてのデジタル入力は、同軸または光デジタル出力を介したデジタル信号のパススルーには対応していません。
- 音声は、アナログRCA、XLR、ヘッドホン出力からのみ出力されます。

## 出力先（Output Sources）




Luxsin X8で利用できる出力ポートは、以下のとおりです：

- バランスXLR（Balanced XLR）
- アナログRCA（Analog RCA）
- XLR/RCA
- ヘッドホン出力（Headphone Outputs）

実際の接続に応じて、対応する出力を選択してください。

> 注：

- すべてのデジタル入力は、同軸または光デジタル出力を介したデジタル信号のパススルーには対応していません。
- 音声は、アナログRCA、XLR、ヘッドホンポートからのみ出力されます。

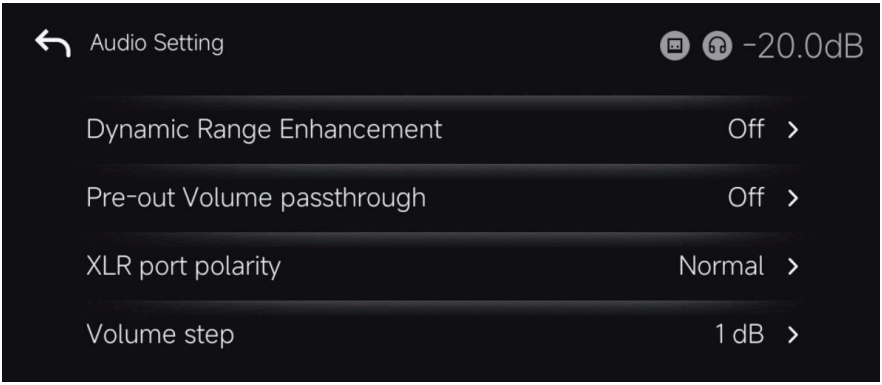
# オーディオ設定（Audio Settings）

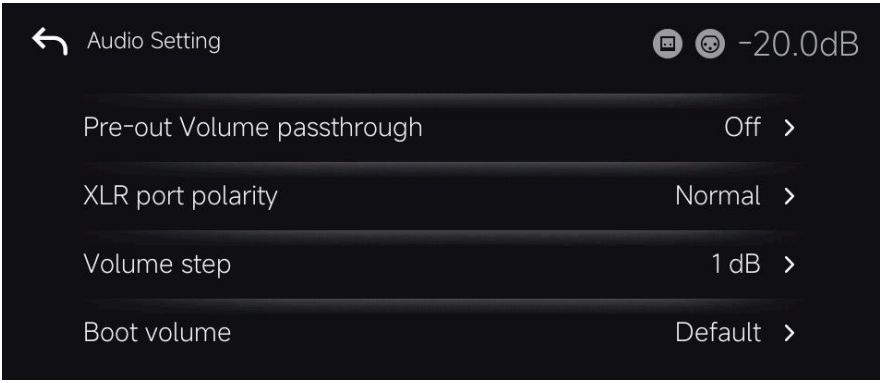
オーディオ設定（Audio Settings）メニューには、次の項目があります。

- ヘッドホンゲイン（Headphone Gain）
- 自動インピーダンス検出（Auto Impedance Detection）
- フィルター（Filters）
- プリアンプ出力レベル（Pre-output level）
- ダイナミックレンジ拡張（Dynamic Range Enhancement）
- プリアンプ出力のボリュームスルー（Pre-out Volume passthrough）
- XLRポートの極性（XLR port polarity）
- ボリュームステップ（Volume step）
- 起動時の音量（Boot volume）
- 左右バランス（Left/Right Balance）
- VUメーター感度（VU meter sensitivity）
- IIS設定（IIS Setting）

これらの設定を行うには、設定メニュー（Settings Menu）＞オーディオ設定（Audio Settings）＞ヘッドホンゲイン（Headphone Gain）と進み、お使いのヘッドホンに適したゲインレベルを選択してください。









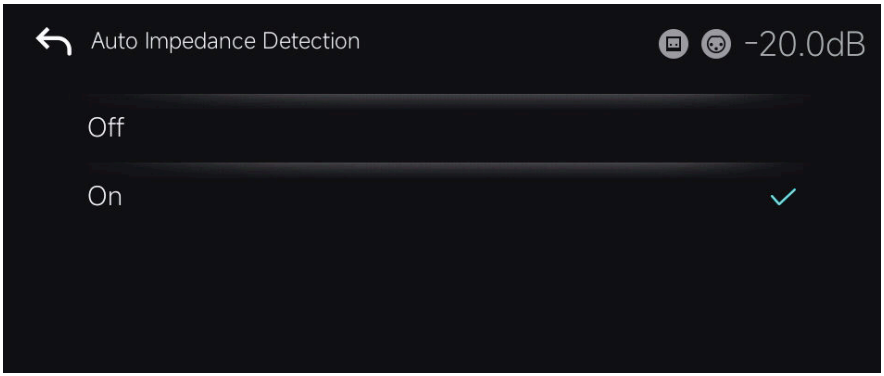
## ヘッドホンゲイン（Headphone Gain）

電源を入れた後に初めてヘッドホンを接続すると、システムがお使いのヘッドホンの機種を自動検出し、最適なゲイン設定を適用します。



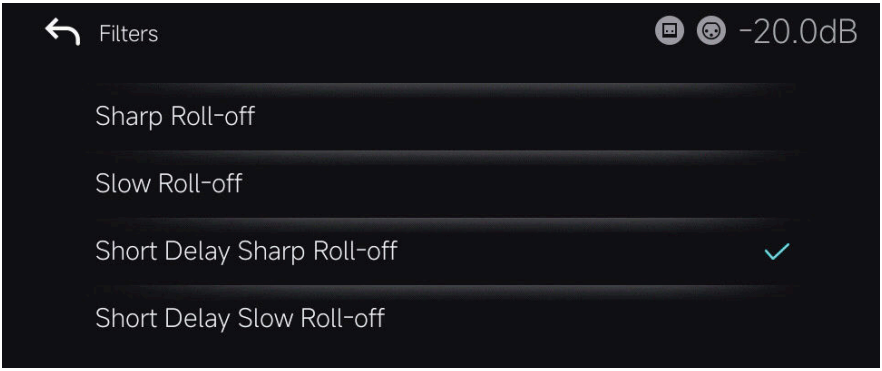

## 自動インピーダンス検出（Auto Impedance Detection）

設定（Settings）＞「オーディオ設定（Audio Settings）」＞「自動インピーダンス検出（Auto Impedance Detection）」に進みます。お好みのヘッドホンに応じて、この機能のオン・オフを切り替えられます。



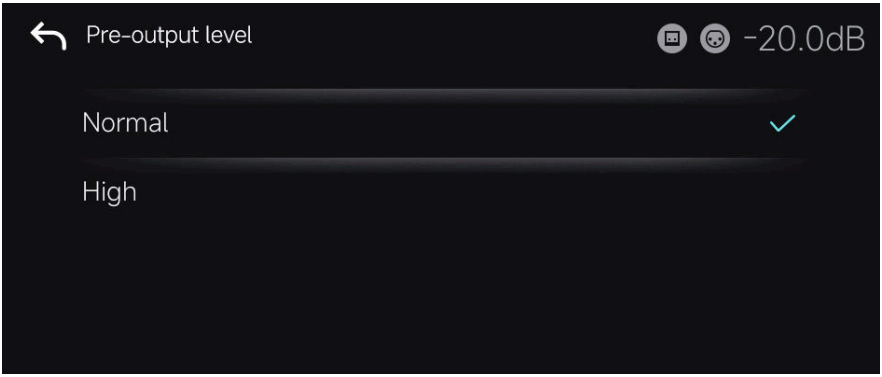

## フィルター特性設定（Filter Characteristics Settings）

設定メニュー（Settings Menu）＞オーディオ設定（Audio Settings）＞フィルター特性（Filter Characteristics）から設定します。好みに応じてさまざまなフィルタータイプを調整できます。フィルターごとに音の傾向が異なるため、お好みに合わせてリスニング体験を仕立てられます。



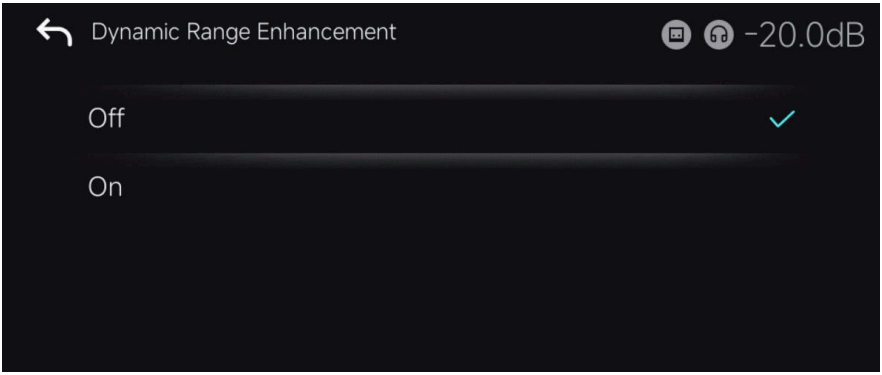

## プリアンプ出力レベル（Pre-output level）

設定（Settings）＞「オーディオ設定（Audio Settings）」＞「プリアンプ出力レベル（Pre-output level）」に進みます。標準（Standard）または高（High）から選択できます。



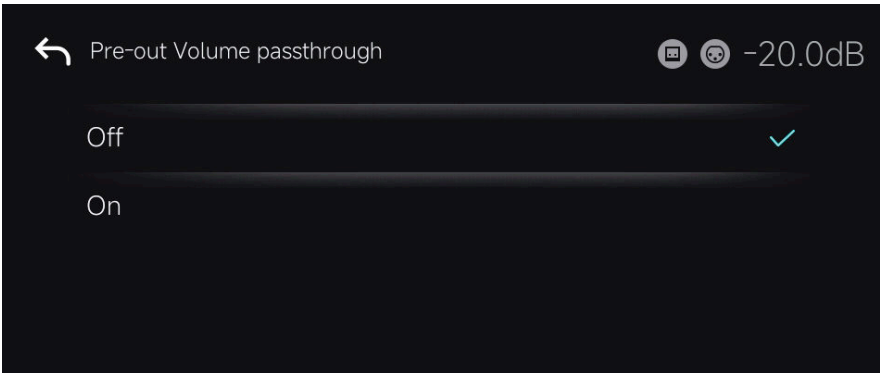

## ダイナミックレンジ拡張（Dynamic Range Enhancement）

設定メニュー（Settings Menu）＞「オーディオ設定（Audio Settings）」＞「ダイナミックレンジ拡張（Dynamic Range Enhancement）」に進みます。オフ（Off）またはオン（On）を選択できます（この機能をオンにすると、システムのダイナミックレンジが約7dB拡大します。音量帯によっては歪みに影響が出る場合があります）。



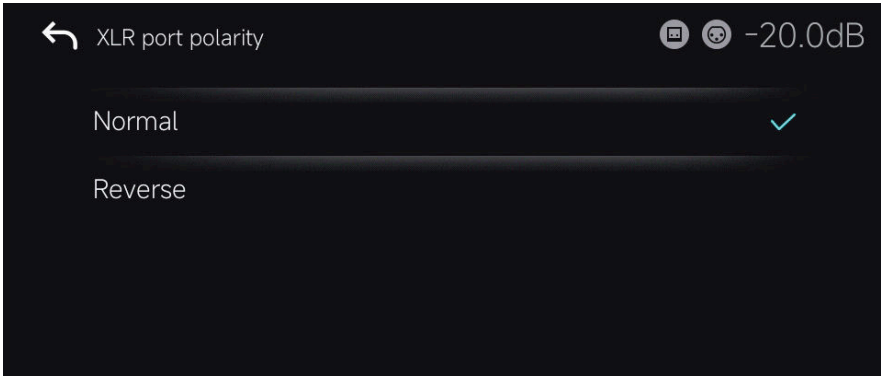

## プリアンプ出力のボリュームスルー（Pre-out Volume passthrough）

設定メニュー（Settings Menu）＞「オーディオ設定（Audio Settings）」＞「プリアンプ出力のボリュームスルー（Pre-out Volume passthrough）」に進みます。オフ（Off）またはオン（On）を選択できます。




## XLRポートの極性（XLR Port Polarity）

設定メニュー（Settings Menu）＞オーディオ設定（Audio Settings）＞XLRポートの極性（XLR Port Polarity）に進みます。極性設定は正相（Normal）または逆相（Inverted）から選択できます。




## ボリュームステップ（Volume step）

設定（Settings）＞「オーディオ設定（Audio Settings）」＞「ボリュームステップ（Volume step）」に進みます。-0.5dB～+3dBの範囲で調整できます。




## 起動時の音量（Boot volume）

設定メニュー（Settings Menu）＞「オーディオ設定（Audio Settings）」＞「起動時の音量（Boot volume）」に進みます。既定値を使用するか、-5dB～-30dBの範囲で調整できます。



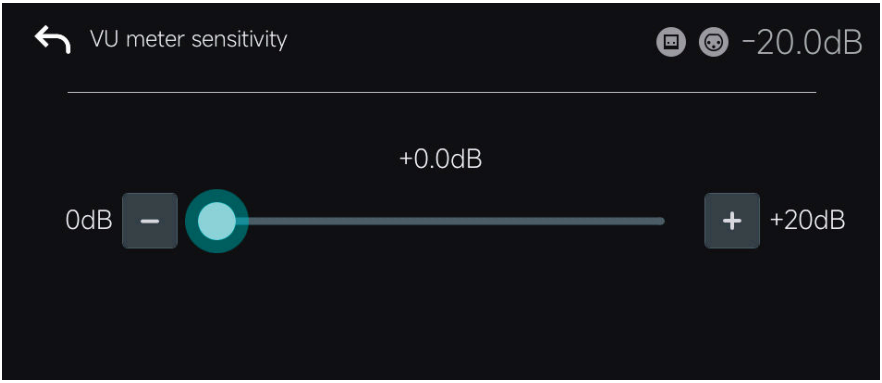

## 左右バランス（Left-right balance）

設定メニュー（Settings Menu）＞オーディオ設定（Audio Settings）＞左右バランス（Left-right balance）に進みます。-15dB～+15dBの範囲で調整できます。




## VUメーター感度（VU meter sensitivity）

設定メニュー（Settings menu）＞「オーディオ設定（Audio Settings）」＞「VUメーター感度（VU meter sensitivity）」に進みます。0dB～+20dBの範囲で調整できます。

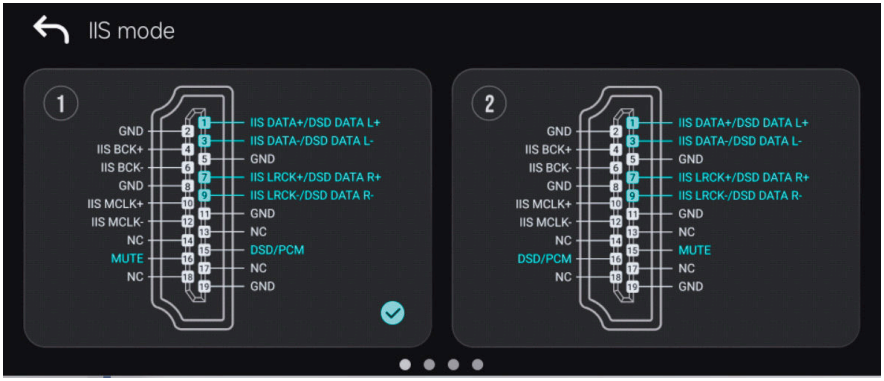


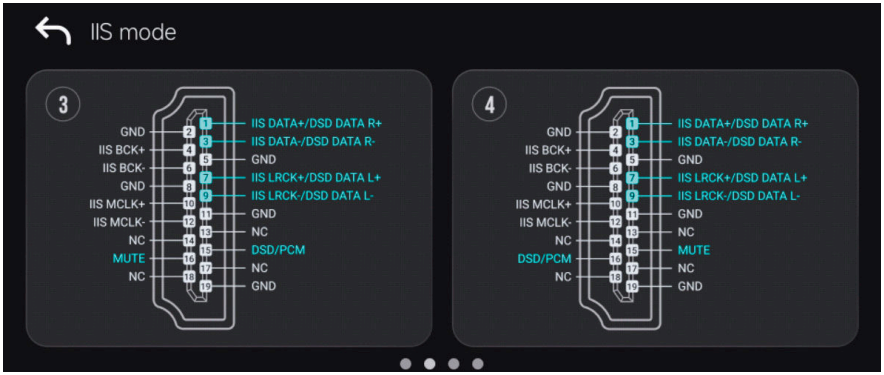

## IIS設定（IIS Setting）

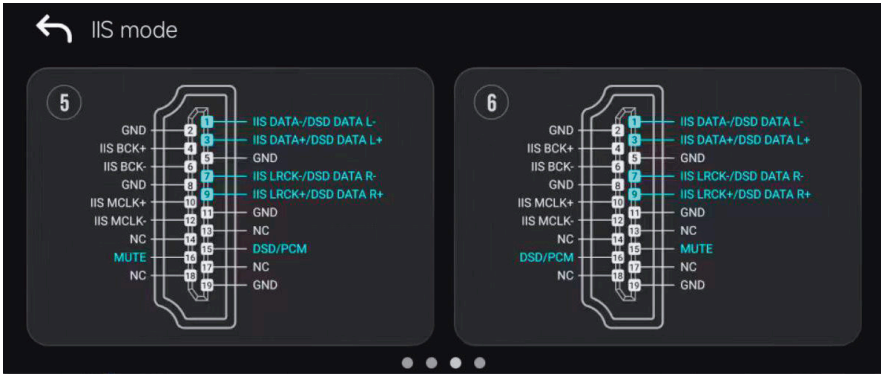
設定メニュー（Settings menu）＞「オーディオ設定（Audio Settings）」＞「IIS設定（IIS Setting）」に進み、ミュートレベル（Mute Level）とIISモード（IIS Mode）を調整します。

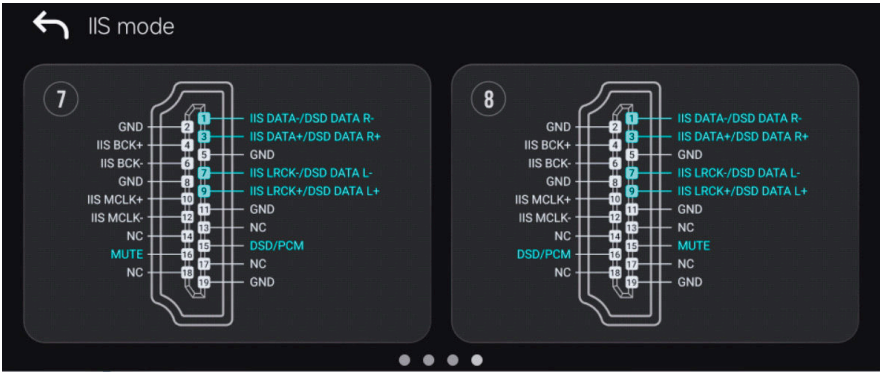



ミュート極性（Mute Polarity）：インターフェースモードに応じて、低レベルまたは高レベルを選択します。IISモード（IIS Mode）：入力ソースのIISインターフェースモードに応じて、8つのモードのいずれかに設定します（下記のモード表を参照）。


IIS mode
1
GND
IIS BCK+
IIS BCK-
GND
IIS MCLK+
IIS MCLK-
NC
MUTE
NC
IIS DATA+/DSD DATA L+
IIS DATA-/DSD DATA L-
GND
IIS LRCK+/DSD DATA R+
IIS LRCK-/DSD DATA R-
GND
NC
DSD/PCM
NC
GND
2
GND
IIS BCK+
IIS BCK-
GND
IIS MCLK+
IIS MCLK-
NC
DSD/PCM
NC
IIS DATA+/DSD DATA L+
IIS DATA-/DSD DATA L-
GND
IIS LRCK+/DSD DATA R+
IIS LRCK-/DSD DATA R-
GND
NC
MUTE
NC
GND


IIS mode
3
GND
IIS BCK+
IIS BCK-
GND
IIS MCLK+
IIS MCLK-
NC
MUTE
NC
IIS DATA+/DSD DATA R+
IIS DATA-/DSD DATA R-
GND
IIS LRCK+/DSD DATA L+
IIS LRCK-/DSD DATA L-
GND
NC
DSD/PCM
NC
GND
4
GND
IIS BCK+
IIS BCK-
GND
IIS MCLK+
IIS MCLK-
NC
DSD/PCM
NC
IIS DATA+/DSD DATA R+
IIS DATA-/DSD DATA R-
GND
IIS LRCK+/DSD DATA L+
IIS LRCK-/DSD DATA L-
GND
NC
MUTE
NC
GND


IIS mode
5
GND
IIS BCK+
IIS BCK-
GND
IIS MCLK+
IIS MCLK-
NC
MUTE
NC
IIS DATA-/DSD DATA L-
IIS DATA+/DSD DATA L+
GND
IIS LRCK-/DSD DATA R-
IIS LRCK+/DSD DATA R+
GND
NC
DSD/PCM
NC
GND
6
GND
IIS BCK+
IIS BCK-
GND
IIS MCLK+
IIS MCLK-
NC
DSD/PCM
NC
IIS DATA-/DSD DATA L-
IIS DATA+/DSD DATA L+
GND
IIS LRCK-/DSD DATA R-
IIS LRCK+/DSD DATA R+
GND
NC
MUTE
NC
GND


IIS mode
7
GND
IIS BCK+
IIS BCK-
GND
IIS MCLK+
IIS MCLK-
NC
MUTE
NC
IIS DATA-/DSD DATA R-
IIS DATA+/DSD DATA R+
GND
IIS LRCK-/DSD DATA L-
IIS LRCK+/DSD DATA L+
GND
NC
DSD/PCM
NC
GND
8
GND
IIS BCK+
IIS BCK-
GND
IIS MCLK+
IIS MCLK-
NC
DSD/PCM
NC
IIS DATA-/DSD DATA R-
IIS DATA+/DSD DATA R+
GND
IIS LRCK-/DSD DATA L-
IIS LRCK+/DSD DATA L+
GND
NC
MUTE
NC
GND

# Wi-Fi

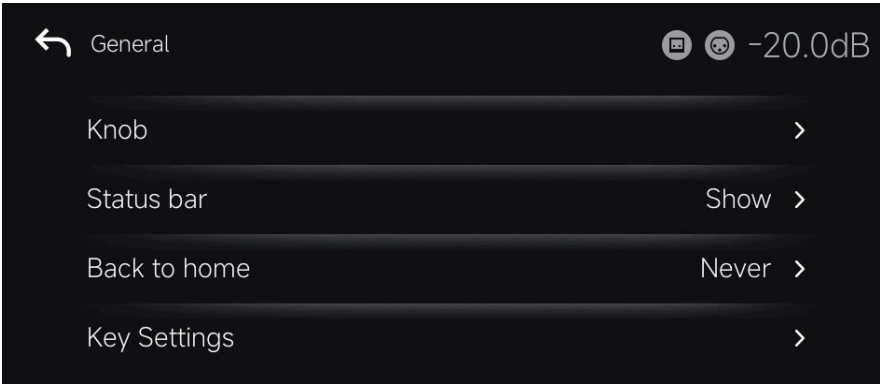
Luxsin X8をお使いになる前に、ネットワークへの接続を確認してください。本機はWi-Fiのみに対応しています。接続するには、ホーム画面（Home Screen）＞「Wi-Fi」からWi-Fi設定にアクセスします。



# 一般設定（General Settings）

一般設定（General Settings）メニューには、言語（Language）、ディスプレイ（Display）、ノブ（Knob）、ステータスバー（Status Bar）、ホームに戻る（Back to Home）、キー設定（Key Settings）の設定項目があります。




- 言語（Language）：インターフェースの表示言語を選びます。選択できるのは英語（English）、繁体字中国語（Traditional Chinese）、簡体字中国語（Simplified Chinese）です。
- ディスプレイ（Display）：画面の明るさ（Screen Brightness）：明るい（Bright）、標準（Medium）、暗い（Dim）／画面消灯（Turn Off Screen）：常時点灯（Always On）、無操作30秒、1分、3分、5分
- ノブ（Knob）：好みに応じて、インターフェースの明るさとスタンバイ時のブリージングライトを選択できます。

（明るさの選択肢: オフ（Off）、明るい（Brighter）、標準（Medium）、暗い（Darker）／スタンバイ時のブリージングライトの選択肢: オン（On）またはオフ（Off））

- ステータスバー（Status Bar）: 画面右上のステータスバーは自由に選択でき、選択肢には

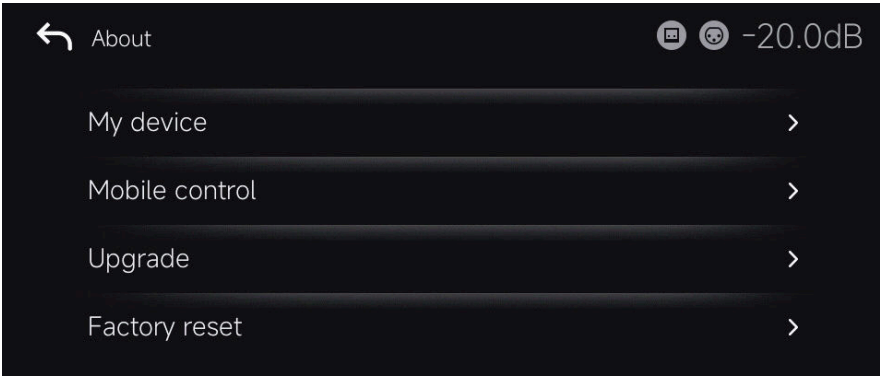
表示（Show）、非表示（Hide）、自動（Auto）があります。

- ホームに戻る（Back to Home）: 無操作の状態が続くと、自動的にホーム画面に戻ります。選択肢: オフ（Off）、無操作20秒、無操作40秒、無操作60秒
- キー設定（Key Settings）: 必要に応じて、リモコンのメニューキーと電源ボタンの機能をカスタマイズできます（リモコンのメニューキーの選択肢: 入力切替、フィルター特性の切り替え／電源ボタンの選択肢: ミュート、減光（DIM））。

# 本機について（About）

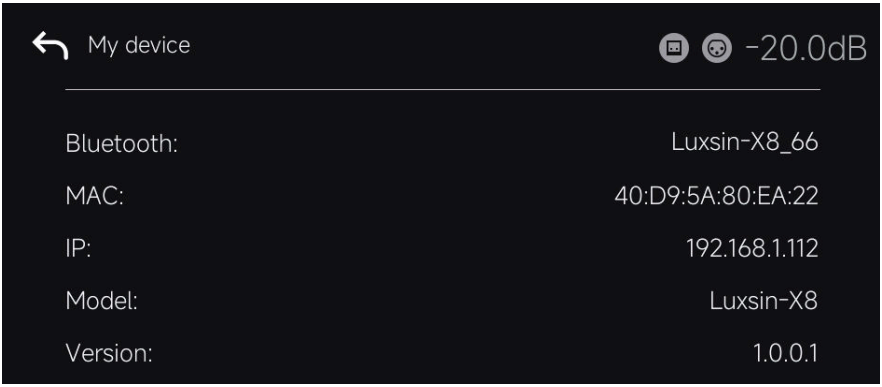
本機について（About）には、次の項目があります。

- マイデバイス（My Device）
- スマホ操作（Mobile Control）
- システム更新（Upgrade）
- 初期化（Factory Reset）



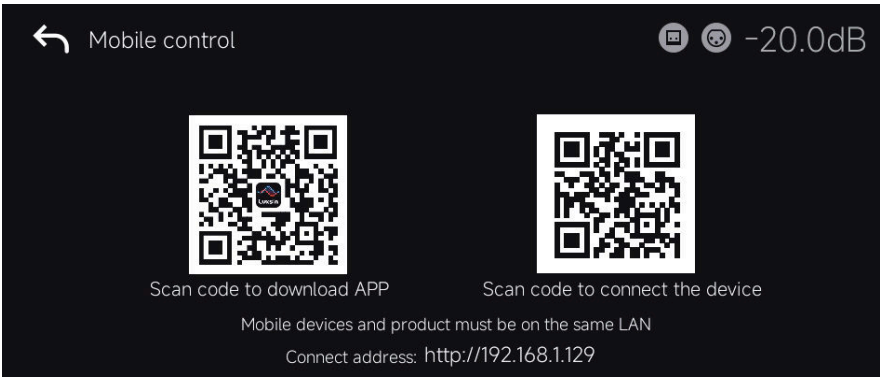

## マイデバイス（My Device）

本機について（About）＞マイデバイス（My Device）に進むと、Bluetooth、MACアドレス、型番、ファームウェアのバージョンなど、デバイスに関する情報を確認できます。



## スマホ操作（Mobile Control）

本機について（About）> スマホ操作（Mobile Control）に進みます。Luxsin X8は、スマホアプリ、iPad、PCからの操作に対応しています。

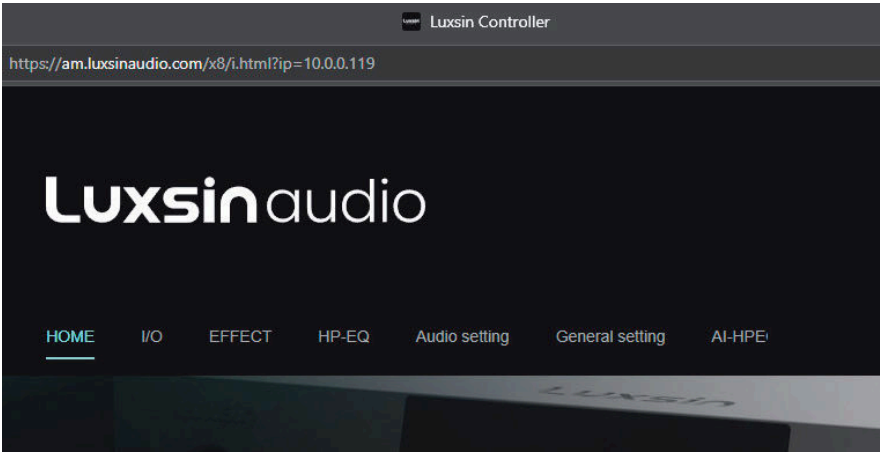



QRコードを読み取って操作用アプリをダウンロード・インストールするか、当社サイトのX8の資料ページ、またはこの取扱説明書内の資料ダウンロードページからダウンロード・インストールすることもできます。

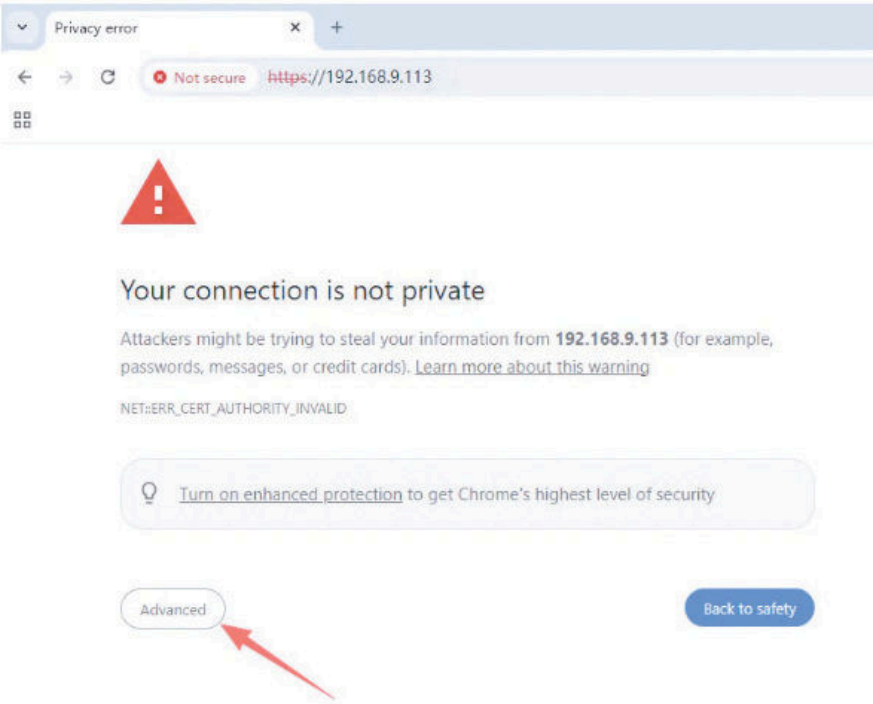
> 重要: 本機とスマートフォン／タブレット／パソコンは、同一のローカルネットワーク（LAN）に接続されている必要があります。

## ブラウザ操作（Web Control）

ブラウザにX8のIPアドレスを入力すると、ブラウザ操作画面が開きます。ブラウザを使用する機器とX8が、同一のローカルエリアネットワークに接続されていることを確認してください。

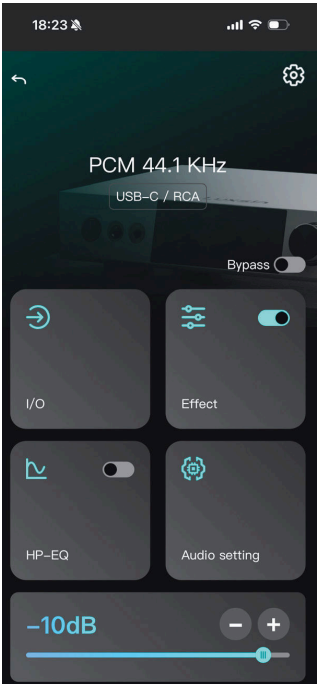


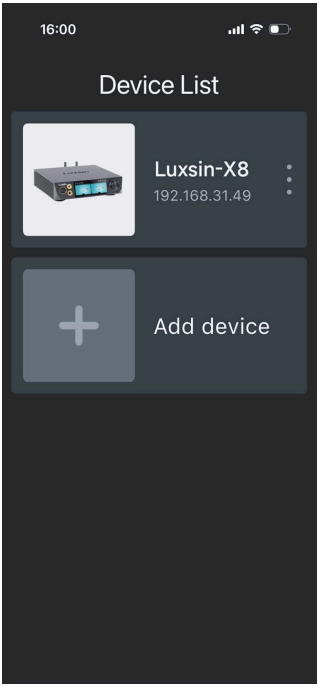

ブラウザ操作画面はHTTPとHTTPSの両方に対応しています。HTTPSで警告を回避するには、信頼された認証局（CA: Certificate Authority）が発行した証明書が必要です。しかし、LuxsinのHTTPSによるブラウザ操作はローカルエリアネットワーク経由でアクセスするため、CAから証明書を取得できません。そのため、自己署名証明書のみが使用可能です。自己署名証明書は「安全でない」わけではなく、第三者機関のCAによる検証を受けていないというだけです。自己署名証明書を使用するWebページに初めてアクセスする際は、多くの場合この警告が表示されます。ご注意ください: この自己署名証明書は第三者機関による検証を受けていません。自己署名証明書を使用するブラウザ操作画面をお使いの場合、表示される内容は以下の例と同様のものになります。この場合は「Advanced」をクリックして進んでください。




## アプリ操作（Mobile App Control）

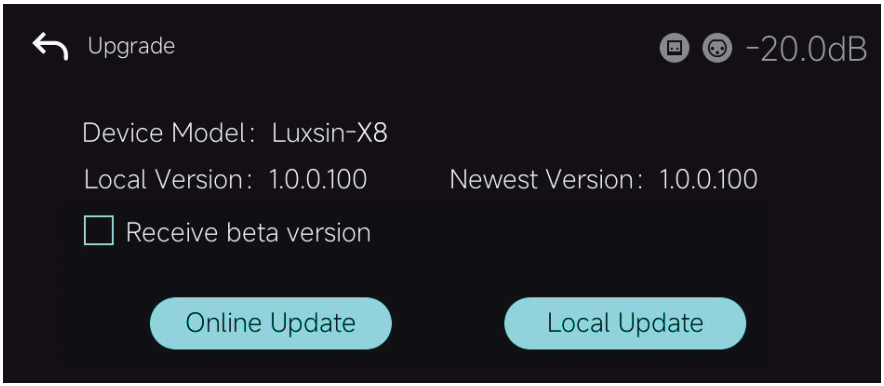
アプリのインストール後、Luxsin X8とスマートフォンが同一のローカルネットワークに接続されていることを確認してください。次に、アプリを開いて「Luxsin-X8」を選択し、「Add Device（デバイスを追加）」に進みます。接続が完了すると、操作画面にアクセスできるようになります。


18:23
PCM 44.1 KHz
USB-C / RCA
Bypass
I/O
Effect
HP-EQ
Audio setting
-10dB


16:00
Device List
Luxsin-X8
192.168.31.49
Add device

## システム更新（System Update）

本機について（About）＞システム更新（System Upgrade）に進むと、更新画面が表示されます。更新方法には、オンラインアップデート（Online Update）とローカルアップデート（Local Upgrade）の2種類があります。




## オンラインアップデート（Online Update）

Wi-Fiネットワークに接続した後、本機について（About）＞システム更新（Upgrade）＞オンラインアップデート（Online Update）に進みます。「Online Update」をタップすると、インターネット経由で最新のファームウェアを取得します。画面の指示に従って更新を完了してください。更新が完了すると、本機は自動的に再起動します。

## ローカルアップデート（Local Upgrade）

Luxsin X8のファームウェア更新パッケージを当社サイトのX8の資料ページからダウンロードし、USBメモリのルートディレクトリにコピーします。USBメモリを本機のUSB-Aポートに挿入します。本機について（About）＞システム更新（Upgrade）に進み、「Local Update」を選択して更新ファイルを選びます。画面の指示に従って更新を完了してください。完了すると、本機は自動的に再起動します。

> 注：

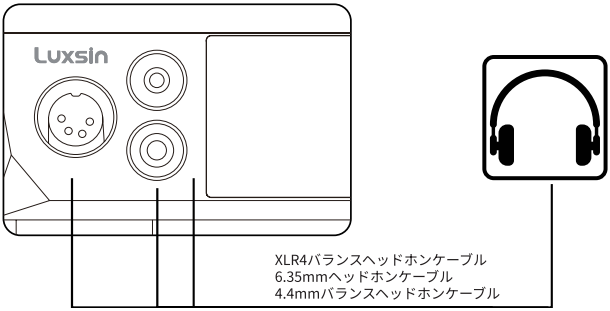
- 更新中は、USBメモリを抜いたり本機の電源を切ったりしないでください。
- FAT32形式でフォーマットされたUSBメモリの使用を推奨します。
- ダウンロードした更新ファイルは解凍しないでください。
- USB 2.0規格のみに対応しています。

# 出力信号の接続と設定

Luxsin X8は、XLR4バランスヘッドホン出力、6.35mmヘッドホン出力、4.4mmバランスヘッドホン出力のほか、アンバランスRCAおよびバランスXLRのアナログ出力など、複数の音声出力オプションを備えています。

## ヘッドホン出力の接続

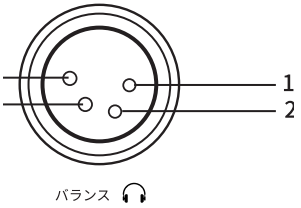
以下のいずれかの方法で、ヘッドホンを対応する出力ポートに接続します。




注意事項

- ヘッドホンが3.5mm TRSプラグを使用している場合は、3.5mmから1/4インチへの変換アダプター（付属）が必要です。
- 6.35mm（1/4インチ）コネクターの抜き差しは、確実に接続・切断できるよう、すばやくスムーズに行ってください。

コネクターの構造上、中途半端な挿入は左右チャンネル間の短絡を招き、短絡保護機能が作動することがあります。




上図はXLR4バランスヘッドホン出力のピン配列を示しています。Pin 2（L-）とPin 4（R-）はシングルエンドヘッドホンのグラウンドピンとは異なり独立した信号ピンであるため、互いに接続しないようご注意ください。バランスヘッドホン

出力をシングルエンドヘッドホンに接続する目的でアダプターを使用しないでください。

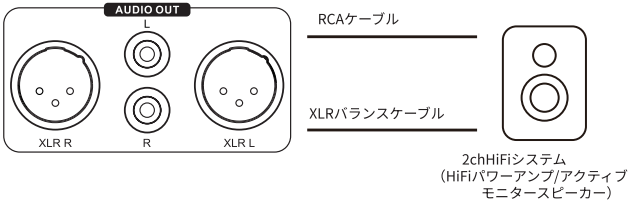



> ご注意事項

- いずれかのヘッドホン出力を使用中は、他のヘッドホン出力は検出・有効化されません。

## XLR/RCA出力の接続

RCAケーブルまたはバランスXLR（キャノン）アナログオーディオケーブル一組を使用し、本機のRCAまたはXLR出力ポートを、アクティブスピーカーまたはHiFiパワーアンプの対応する入力ポートに接続します。



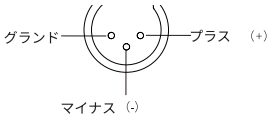

続いて、入出力設定（Input/Output Settings）で出力ポートとして「RCA/XLR」を選択します。

> 注：

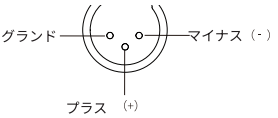
- 本機にはRCAとXLRバランスの2系統の独立したステレオ出力ポートを搭載しています。それぞれを個別に使用することも、両方から同時に出力することも選択できます。

- 接続にはXLRバランスポートの使用を優先することをおすすめします。ノイズ抑制と信号品質に優れているためです。

一部のオーディオシステムでは、XLRポートの極性（正相・逆相）が反転している場合があります。Luxsin X8は初期設定で正相（ノーマル）になっています。対応する各ポートの極性は下図のとおりです。



端子極性の図
正相に設定した場合

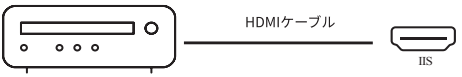


逆相に設定した場合の図

接続する機器の極性が反転している場合は、オーディオ設定（Audio Settings）> XLRポートの極性（XLR Port Polarity）から設定を調整できます。RCAとXLRを同時に出力する際の信号干渉を抑えるため、Luxsin X8ではXLRとRCAの出力を個別に選択できます。XLR出力を使用する場合は、メニューで出力ポートをXLRのみに設定することをおすすめします。同様に、RCA出力を使用する場合はRCAのみに設定してください。この個別出力方式により、より高い音質と再生性能が得られます。

## IIS出力の接続（IIS対応機器との接続用）

本機のIIS入力ポートと、IIS出力ポートを備えたデジタルプレーヤーをHDMIケーブルで接続します。デジタルプレーヤー側では出力ポートとして「IIS」を選択します。X8では入力設定を開き、IIS入力を選択します。



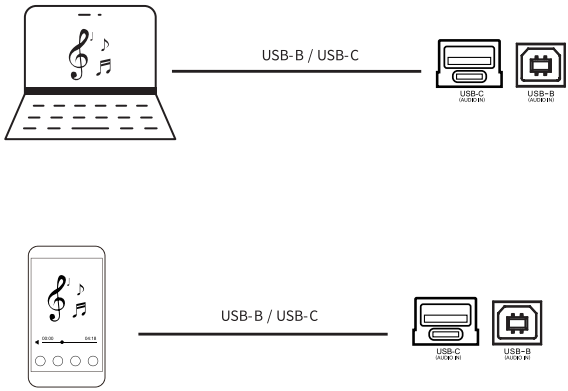
デジタルプレーヤー

> 注：

- この機能は標準的なHDMI信号ではなく、HDMIインターフェースを介してIIS信号を伝送する専用のものです。そのため、パソコンやテレビ、セットトップボックスなどのHDMIポートに直接接続することはできません。
- MUTEレベルやインターフェースモードはデジタルプレーヤーのブランドによって異なる場合があります。適切に設定してください。
- IIS音声出力は、DSD512ネイティブおよび最大768kHzのPCMに対応しています。

# 入力信号の接続と設定

Luxsin X8は、Bluetooth、USB-B、USB-C、同軸、光、IISを含む複数のデジタル音声入力に対応しています。これらのデジタル音声入力に対応する音声出力端子は「RCA/XLR」です。




## USB Type-B/C入力の接続

Luxsin X8をコンピューター、USB音声出力を備えた機器、またはスマートフォンに接続するには、USB-AからType-Bへのデータケーブルを使用します。入出力設定で、入力ポートとして「USB-B」を選択します。

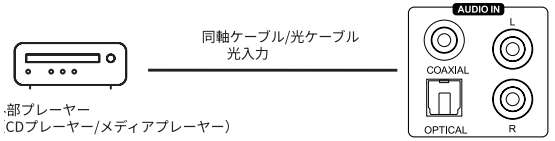
> 注：

- Windowsをご使用の場合は、Luxsin X8に対応するドライバーをインストールする必要があります。ドライバーのダウンロードについては「資料とダウンロード」の項目をご参照ください。
- コンピューターに接続した後、既定の音声出力デバイスとして「Luxsin X8」を設定します。
- Windows: ドライバーをダウンロードしてインストールした後、コントロールパネル→ハードウェアとサウンド→サウンド→再生の順に進み、「Luxsin X8 DAC」を選択します。
- Mac: ドライバーのインストールは不要です。接続後、システム環境設定→サウンド→出力の順に進み、「Luxsin X8」を選択します。

- USB入力は、最大でステレオDSD512、PCM 768kHz 32bitのフォーマットに対応します。実際の仕様は、接続先の再生機器やソフトウェアの対応状況によって異なる場合があります。
- Lightningコネクタを備えた旧型のiPhoneをお使いの場合、正しく再生するにはMFi認証のLightning-USB OTGカメラキット／オーディオケーブルが必要です。

## 光/同軸入力の接続

メディアプレーヤーやCDプレーヤーなど、SPDIF信号出力を備えた再生機器を接続するには、光または同軸の音声ケーブルを使用します。Luxsin X8の対応する光、同軸入力に接続してデコードします。入出力設定で、該当する入力ポート「光入力（Optical Input）」「同軸入力（Coaxial Input）」のいずれかを選択します。




外部再生機器（CDプレーヤー／メディアプレーヤー）

> 注：

- 同軸接続には、75Ωの同軸オーディオ用プロ仕様信号ケーブルをご使用ください。
- 光接続には、標準的な光オーディオ信号ケーブルをご使用ください。
- 光/同軸入力は、最大でPCM 192kHz 24bitおよびDOP64に対応します。

## Bluetooth音声入力の接続

本機はQualcommのフラッグシップBluetooth音声受信モジュール QCC5125 を搭載し、AAC/SBC/MAC OSなどのハイレゾオーディオプロトコルに対応しています。高音質なBluetoothデコーダーとして機能し、さまざまなモバイル機器とペアリングしてワイヤレス再生が可能です。Bluetooth入力を使用するには、入出力設

定で入力ソースとして「Bluetooth入力（Bluetooth Input）」を選択します。続いてお使いのモバイル機器でBluetoothを有効にし、「Luxsin X8」を検索してタップしてペアリング・接続してください。

> 注：

- 実際に受信されるBluetoothの音声フォーマットは、送信側機器の出力フォーマットに依存します。
- Androidスマートフォンでは、通常「開発者向けオプション」でBluetoothの出力フォーマットを変更できます。

# 注意事項

## 資料とダウンロード

ファームウェアの更新、USBドライバー、モバイルコントロールアプリについては、当社サイトのX8の資料ページで最新のファイルをご確認ください。ドライバーをダウンロードした後は、ZIPパッケージを展開し、.exeインストーラーをダブルクリックして、画面の指示に従いインストールを完了してください。

アプリ操作

※QRコードの読み取りにはモバイルブラウザのご使用をおすすめします

## 特記事項:

より良いユーザー体験のため、Luxsin Acousticは自社製品のファームウェアを随時更新しています。本取扱説明書の内容は、実際にお使いの製品と異なる場合があります。デバイスの機能や仕様に変更があった場合でも、個別に通知されることはありません。ご使用方法の詳細については、当社サイトのX8の資料ページをご確認ください。

## 安全に関するご注意:

1. 本機に水しぶきや水滴がかからないようにしてください。花瓶など液体の入った物を本機の上に置かないでください。
2. 本機の電源切断手段は、電源プラグまたは背面の電源スイッチです。操作をしやすくするため、電源プラグや電源スイッチの周囲に物を置いて塞がないようにしてください。
3. 本機はクラスI機器です。使用の際は適切な接地（アース）措置を確実に行ってください。